

令和4年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画

[取組方針]

令和4年度（2022年度）は、平成23年度の公益財団法人移行から12年目を迎えるとともに、「文化ホール開館20周年」、「美術館開館35周年」の節目の年にあたります。

さらに、新たな基本構想に基づき策定された目黒区基本計画の初年度で、今後10年間の目黒区の施策推進の指針である基本計画では、基本目標の一つを「人が集い活力あふれるまち」とし、政策として「芸術文化の香りあふれるまちづくり」が掲げられており、事業の更なる充実が求められています。

財団事業に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の終息はいまだ不透明な状況ですが、コロナ禍の状況であるからこそ、区民の皆様に良質な芸術・文化に触れる機会や活動の場を提供するという当財団に課された役割はますます重要となっています。

3年度は、国、東京都、目黒区及び業界団体が策定するガイドラインなどを踏まえ、施設利用者や公演主催者等の理解のもと、感染症対策を徹底したうえで事業を実施いたしました。また、文化ホールと美術館を拠点にインターネットを活用した映像等の配信やワークショップの実施、SNSを活用した情報発信などにも積極的に取り組むなど、多くの区民の皆様に鑑賞や参加の機会を提供してまいりました。

4年度は、新たな生活様式を踏まえ、職員一人ひとりの創意工夫のもと、周年事業を契機に、優れた実演芸術や展示の提供を通じて、より多くの利用者や来館者の生活に潤いを与え、地域の賑わいと活気の創出につながるよう、総力を挙げて取り組んでまいります。

また、職員全員が区の芸術文化振興策の一翼を担う公益法人としての役割を理解・共有し、意欲をもって職務に取り組めるよう、就労環境の整備と計画的な人材育成を進めるとともに、中長期的な視点にたって安定した財団運営が可能となるよう自主財源の確保を図り、区の支援も得て経営基盤の強化に努めてまいります。

今後も、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが芸術文化の機会を享受し、地域社会の中で心豊かな生活を送ることができるよう、区をはじめ関係団体との連携・協力のもと、財団一丸となって事業を展開し、目黒区における芸術文化の振興と地域社会の発展に貢献し、区民の皆様のご期待に応えてまいります。

目黒区文化ホール

1 事業方針

(1) 鑑賞事業

開館20周年にあたる今年度は、事業の規模を拡大し、より多様で魅力のある公演やイベントを実施します。また、開館20周年事業を通じて、区民をはじめ多くの皆様にこれまでの活動への理解と支援に感謝の意を示すとともに、今後のホールの活動への興味や関心を高める契機といたします。

ア 主催事業：ガラコンサートや開館20周年イベントなど計8事業

イ 共催事業：めぐろバレエ祭りなど計6事業

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成や魅力のある地域づくり、安全・安心なホールを目指し、地域の多様な芸術文化団体の活動等に対して、施設利用や広報等の支援をしてまいります。

ア 主催事業：避難訓練コンサート（2012年～）の1事業

イ 共催事業：パーシモン芸術文化ネットワーク（5団体）など計16事業

(3) 体験・普及事業

次代を担う子どもたちの育成事業や¹社会包摂の視点も踏まえた事業等に積極的に取り組みます。

ア アウトリーチプログラム

区立小中学校（2006年～）、区立幼稚園、区立こども園（2016年～）

東京医療センター（2013年～）、区立特別養護老人ホーム3施設（2015年～）、心身障害者センター（2016年～）

イ ワークショップ事業

(4) 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

開館20周年事業として、これまでの経験等を活かした区民参加型事業「加藤訓子（パーカッショニスト）ライヒ・プロジェクト（仮称）」を実施します。

(5) 受託事業

ア 目黒区文化祭

目黒区文化団体連合会や区と協力しながら、邦楽、民謡、日本舞踊をはじめ様々な芸術文化団体の活動を支援します。

イ めぐろオータムアート

目黒区美術館と連携し、音楽と美術を合わせたプログラムを実施します。

(6) 貸館事業

区民をはじめ多くの皆様にご利用いただく貸館事業については、常に公平・公正や安全・安心に留意しながら、施設の貸出しと設備の保守管理に努めてまいります。

また、情報コーナーや受付窓口に、利用者のチラシなどを設置し、公演やイベントの情報提供を行います。

¹社会包摂：芸術文化に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的活動

2 運営方針

- (1) 開館20周年を迎え、この機会に改めて“響きの良さ”などホールの魅力について広く周知するとともに、芸術文化の鑑賞、創造、発信の場として、より一層、地域に根差したホールとして親しまれるように、地域コミュニティに寄与する取組を進めます。
- (2) 各種事業の実施に当たっては、各年代層の要望に沿っていることや公演のジャンルに偏らないことに留意します。また、他のホールや実演芸術団体と連携・協力し、ホールの特性を活かして創造性・発信性のある事業を実施するとともに、区民の芸術文化に対する関心を高め、活動意欲が発揮できる機会を提供するために参加型事業の充実に努めます。
- (3) 「アウトリーチプログラム」については、区、教育委員会はじめ、実施する施設との連携を密にしながら、環境や対象に応じたプログラムを実施し、区民が身近な場所で生のパフォーマンスを鑑賞する機会を提供します。なかでも、児童・生徒を対象にしたプログラムでは、芸術性の高い音楽や演奏家との交流を通じて豊かな感性が育まれるように取り組みます。なお、派遣するアーティストは、ホールでコンサートを実施した演奏家に依頼するなど、ホール活動とも連携した運営に努めます。
- (4) 「目黒区文化祭」、「めぐろオータムアート」については、行政（目黒区、東京都）や美術館との連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の支援に努めるとともに、区民が芸術文化の活動に出会い、楽しむことのできる機会を提供します。
- (5) 開館20周年事業を通じて、ホールの魅力やホールの活動・事業を広く周知するために、ホームページの特設サイトの制作や情報紙「アートレター」の更なる充実、幅広い年代が利用するツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワークやメールマガジンでの情報発信など、様々な媒体を活用し、効果的かつ効率的な情報発信に努めてまいります。また、演奏会などの様子を動画配信し、多様な鑑賞機会の充実に努めます。さらに、今年度は大ホール及び小ホールの配信環境を整備し、貸館利用者にも活用して頂くよう周知していきます。
- (6) 事業規模を拡大するため、区の補助金や文化庁、東京都からの助成金の活用を図るとともに、法人及び個人からの賛助会員等の拡大など、積極的に収入の確保に努めてまいります。また、収支のバランスにも留意しながら、区民等から信頼される堅実な運営に努めてまいります。
- (7) 文化ホールの行政と財団による利用枠は、これまでの一般利用の実績や新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金の減収など、今後の収益の見通しも踏まえ、大ホールが概ね25%、小ホールが概ね15%を目途に運営してまいります。また、ホールの利用率の向上のため、周知方法等の工夫に努めます。

目黒区美術館

1 事業方針

(1) 展覧会事業

当館が、これまでに行ってきた個性的な取り組みを再認識できる展覧会や、他の美術館との連携による親しみやすい内容の展覧会を開催するなど、開館35周年にふさわしい事業を展開します。

ア 自主企画展（3展）

開館35周年に当たり、これまで行ってきた美術館の活動や収蔵品等を活かした個性的な展覧会

イ 指定管理事業（区との基本協定に基づき財団が実施する事業）

美術館所蔵作品展、めぐろの子どもたち展

ウ 受託事業

めぐろオータムアート、目黒区文化祭など

エ 年間開館日数

区展を加え概ね200日程度

オ 年間入館者数目標

5展(自主企画3、指定管理2) 概ね3万人

観覧料の区民向けの特典について、引き続き区と協議してまいります。

(2) 教育普及事業

美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育くまれる事業として、例年行っている夏・春のワークショップをはじめ、展覧会に関連したワークショップ、ギャラリートツアー、講演会等を実施します。

(3) 調査研究

目黒に息づく様々な文化資源の調査研究を深めてまいります。また、個々の学芸員の専門性を生かしながら、引き続き、美術館の事業や運営を見据えた、より実践的な学芸活動を進めてまいります。

こうした調査研究の成果を土台にして、魅力ある企画展を催し、美術作品の豊かな表現を区民に伝えてまいります。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区内美術団体に対して、本館及び区民ギャラリーを提供するなど、区民の芸術文化活動を支援します。

美術館や地域の活性化を図るため、地元商店街、区内外の美術館や博物館などとの協力関係のほか、区・他団体等との連携も図りながら、芸術文化活動の推進に努めます。

(5) 区民ギャラリーの運営

公平で公正な利用に供するため、抽選会の運用などに留意しながら、展示や撤去時等の安全性を確保し、区民等の創作の発表や交流の場として、誰もが気軽に利用できるよう、適正な運営に努めます。また、PR等を工夫しながら新規利用者の増加を図ってまいります。

2 運営方針

- (1) 新たな目黒区民センターの基本構想で示されている「美術館が発信してきた芸術文化の香りを新たな区民センターの敷地に広げる」という役割を念頭に置き、より一層区民に親しまれるよう取り組んでいきます。
- (2) 事業の実施にあたっては、必要最小限の経費で予め作成した年間事業スケジュールに沿って実施します。また、他団体助成金の獲得など収入の確保に積極的に取り組むとともに、事業の効果や経済性も考慮しながら事業ごとの収支バランスに留意します。
- (3) 広報の一環として、ホームページのほかツイッター、フェイスブックをはじめ、若年層の利用が多いインスタグラムなどのソーシャルネットワークを活用した情報発信について、より有効性が増すように努めてまいります。また、YouTube チャンネル上に、展覧会や催事に関連した動画を公開し、PRに努めます。
- (4) ギャラリーツアー等は、校長会や図工部会など学校教職員等との検討を深め協議しながら、子どもの鑑賞活動機会の拡充を図れるよう努めます。
- (5) 「めぐろオータムアート」等の実施にあたっては、文化ホールや区の芸術文化推進事業と連携を図り、区民の幅広い芸術文化活動の充実に寄与するよう努めます。

令和4年度 目黒区文化ホール 事業計画

I 自主事業

1 鑑賞事業 (14事業・61公演)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主 催	伝統芸能	1	1月	大ホール	○ 新春落語	新春に行う恒例の落語公演	1	3,482,560	4,071,375	0	588,815
	クラシック	2	10月	大ホール 小ホール	○ フレッシュ名曲コンサート	新進気鋭のアーティストをソリストに迎えるクラシックコンサート。本公演前到来場者拡大を目的としたプレコンサートを実施	2	7,849,800*	7,316,990	0	△ 532,810
		3	1月	大ホール	★ 開館20周年 4人のバリトンコンサート	開館20周年事業。幅広い世代に人気のある声楽家(バリトン)によるコンサート	1	5,080,837	3,043,125	0	△ 2,037,712
		4	3月	大ホール	★ 開館20周年 ガラコンサート	開館20周年事業。今まで出演した「未来の音」アーティスト等によるガラコンサート	1	9,944,800	5,115,000	4,829,800	0
		5	8月	小ホール	○ 室内楽公演	著名なアーティストによる室内楽公演	2	2,293,700	1,210,000	0	△ 1,083,700
	ポピュラー	6	9月	大ホール 小ホール	★ 開館20周年 イベント	開館20周年事業。過去にアウトリーチプログラムに出演したアーティストによるコンサートやホワイエでの親子向けコンサート、バックステージツアー等を実施	3	6,341,488	3,209,000	0	△ 3,132,488
		7	冬頃	小ホール	○ JAZZ公演	著名なアーティストによるJAZZ公演	1	883,600	560,000	0	△ 323,600
	その他	8	未定	美術館	○ 美術館連携公演	美術館事業との連携公演	1	382,500	120,000	0	△ 262,500
					○ 次年度準備	次年度事業の準備経費		85,000	0	0	△ 85,000
小計	8					12	36,344,285	24,645,490	4,829,800	△ 6,868,995	
共 催	バレエ	1	8月	大ホール 小ホール	○ 東京バレエ団「第10回 めぐるバレエ祭り」	今回で節目の10回目となる、東京バレエ団主催による大ホール公演と小ホール等での各種ワークショップやイベント	40	37,800	37,800	0	0
		2	12月	大ホール	○ キエフ・バレエ	(株)光藍社主催によるクラシックバレエ公演	1	100,440	100,440	0	0
	クラシック	3	未定	小・GTホール	○ レクチャー付室内楽公演	(一社)music dialogue主催によるレクチャー付室内楽公演	2	12,420	12,420	0	0
	ポピュラー	4	11月	大ホール	☆ ピアノエラ2022	国内外のピアニストによるピアノフェスティバル	2	49,572	49,572	0	0
		5	11月	大ホール	☆ ポピュラーコンサート	東京労音主催によるポピュラーコンサート	1	70,200	70,200	0	0
	伝統芸能	6	春、夏、 秋	大ホール	○ 落語	年3回の恒例の落語公演	3	167,670	167,670	0	0
小計	6					49	438,102	438,102	0	0	
合計	14					61	36,782,387	25,083,592	4,829,800	△ 6,868,995	

*(公財)東京都歴史文化財団からの助成金370万円(予定)を含む。

2 地域の芸術文化・支援事業 (17事業・22公演)

(単位:円)

区分		事業・公演					支出	収入		自主財源 (収入ー支出)	
		番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容		公演数	チケット・ 参加費等		区補助金
主催	地域支援	1	4月	大ホール	○ 第11回避難訓練コンサート	公演中に避難訓練を行う企画	1	551,000	0	551,000	0
	小計	1					1	551,000	0	551,000	0
共催	団体支援	1	4月・3月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール(決選・予選)	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール	1	76,000	0	0	△ 76,000
		2	6月	大ホール	○ 全国舞踊コンクール入賞者アンコール公演	東京新聞主催によるバレエ・舞踊・邦舞のコンクール入賞者による公演	1	5,000	5,000	0	0
		3	6月	大ホール	○ 東京新聞児童舞踊合同公演	東京新聞主催による児童舞踊部門だけの公演	1	1,000	1,000	0	0
		4	4月	大ホール	○ 東山オーケストラ演奏会 *	目黒区東山オーケストラ主催による演奏会	1	0	0	0	0
		5	5月	中目黒GT プラザホール	○ 東京インターアーツ目黒コンサート	東京インターアーツ目黒主催による現代音楽と邦楽のコンサート	2	900	900	0	0
		6	12月	大ホール	○ 目黒区民交響楽団 定期演奏会 *	目黒区民交響楽団主催による定期演奏会	1	5,000	5,000	0	0
		7	6月	大ホール	○ 目黒吹奏楽団 定期演奏会 *	目黒吹奏楽団主催による定期演奏会	1	0	0	0	0
		8	7月	大ホール	○ 東京マンドリン宮田楽団 定期演奏会	東京マンドリン宮田楽団主催による定期演奏会	1	36,000	36,000	0	0
		9	6月・8月	小ホール	○ 伝統文化に親しむ	(公財)北野生涯教育振興会による伝統文化公演	2	0	0	0	0
		10	3月	小ホール	○ 北野財団主催 チャリティーコンサート	(公財)北野生涯教育振興会によるチャリティーコンサート。公募で集まった区民が合唱団員として出演	1	3,000	3,000	0	0
		11	7月	大・小ホール	○ 第20回パーシモンほたるまつり	都立大学商店街等実行委員会主催の区民キャンパスで実施する地域イベント	1	300,000	0	150,000	△ 150,000
		12	10月	大ホール	○ めぐる童謡コンサート *	童謡の里めぐろ保存会主催による童謡・合唱等のコンサート	1	8,000	8,000	0	0
		13	12月	小ホール	○ 身体で聴こう音楽会	バイオニア(株)主催による聴覚障害者等を対象としたコンサート	1	0	0	0	0
		14	3月	大ホール	○ めぐるクラシックセレクション *	目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサート	1	8,500	8,500	0	0
	新進支援	15	2月	中目黒GT プラザホール	★ Duo Project	(一社)music dialogue主催による若手演奏家デュオへの公開コーチング	3	0	0	0	0
子育て支援	16	3月	小ホール	○ 親子のためのふれあいコンサート	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催のファミリーコンサート	2	7,500	7,500	0	0	
小計	16					21	450,900	74,900	150,000	△ 226,000	
合計	17					22	1,001,900	74,900	701,000	△ 226,000	

* パーシモン芸術文化ネットワークとは、芸術文化活動を通して活動団体の交流・連携・協力を深め、目黒区の芸術文化の振興を進めることを目的とした団体

(目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会)

3 体験・普及事業 (2事業・36公演)

(単位:円)

区分	事業・公演						支出	収入		自主財源 (収入－支出)	
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	公演数		チケット・ 参加費等	区補助金		
主催	ワークショップ	1	6、7月	小ホール	○ 子ども向けワークショップ(演劇、ダンス)	子どもを対象にしたワークショップ	3	1,762,300*	1,539,500	0	△ 222,800
	アウトリーチ	2	年間	小中学校等	○ アウトリーチプログラム	区内小中学校等にアーティストが出向き、子どもたち等との交流等を実施	33	5,200,000	0	3,800,000	△ 1,400,000
合計	2					36	6,962,300	1,539,500	3,800,000	△ 1,622,800	

* (公財)北野生涯教育振興会からの協賛金140万円を含む。

合計(公演等事業経費:1+2+3)	44,746,587	26,697,992	9,330,800	△ 8,717,795
-------------------	------------	------------	-----------	-------------

4 自主事業運営経費

(単位:円)

区分	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
				チケット・ 参加費等	区補助金	
自主事業 運営経費	○ チケット手数料及び委託	チケット購入に係るシステム委託及び手数料	794,080	0	500,000	△ 294,080
	○ 都立大学駅前ポスター掲出委託	都立大学駅前に設置している看板掲出料	486,400	0	463,233	△ 23,167
	○ ボランティア活動の支援	ホールの事業等のスタッフとして活動を支援	21,500	0	0	△ 21,500
	○ 賛助会運営	ホール賛助会(法人・個人)の運営	28,000	731,000	0	703,000
	○ アートレター	財団情報紙である「アートレター」の作成・配布	5,810,760	862,400	2,098,800	△ 2,849,560
	○ 新型コロナウイルス感染症対策経費	事業に係る動画配信費用一式	1,650,000	0	1,650,000	0
	★ 20周年事業における広報事業	20周年の特別広報	4,000,000	20,000	0	△ 3,980,000
合計			12,790,740	1,613,400	4,712,033	△ 6,465,307

(33事業 119公演)	総合計(自主事業経費:1+2+3+4)	57,537,327	28,311,392	14,042,833	△ 15,183,102
--------------	---------------------	------------	------------	------------	--------------

II 指定管理事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	指定管理料	
指定管理事業	1	12月	大ホール GTホール	★ 開館20周年事業	指定管理事業として財団の創意工夫を生かした開館20周年事業。現代音楽の打楽器第一人者(加藤訓子)によるコンサート&ワークショップ	2	7,824,600	4,788,000	1,220,260	△ 1,816,340
合計	1					2	7,824,600	4,788,000	1,220,260	△ 1,816,340

自主事業経費(Ⅰ)＋指定管理事業費(Ⅱ)	65,361,927	33,099,392	15,263,093	△ 16,999,442
----------------------	------------	------------	------------	--------------

公演等事業経費 【自主事業公演等事業経費(1+2+3)＋指定管理事業費(Ⅱ)】	52,571,187	31,485,992	10,551,060	△ 10,534,135
---	------------	------------	------------	--------------

III 受託事業

(単位:円)

区分	事業・公演					公演数	支出	収入		自主財源 (収入－支出)
	番号	時期	会場	名称(○:継続 ☆:再演 ★:新規)	内容			チケット・ 参加費等	区委託料	
受託事業	1	春・秋	大・小ホール 等	○ 第57回目黒区文化祭	日舞、合唱、民謡、華茶道、邦楽、洋舞、吟剣、自主グループ、演劇、謡曲、民謡、音楽、ユネスコの各団体による公演	14	1,963,843	0	1,963,843	0
	2	秋頃	区内施設等	○ めぐるオータムアート	目黒区の特徴を生かし、「聴く、観る、知る、創造する、育てる」の視点から、たくさんの人に芸術文化に接し、親しんでもらうためのイベント	2	776,000	90,000	686,000	0
合計	2					16	2,739,843	90,000	2,649,843	0

全事業合計 【自主事業経費(Ⅰ)＋指定管理事業費(Ⅱ)＋受託事業費(Ⅲ)】	68,101,770	33,189,392	17,912,936	△ 16,999,442
---------------------------------------	------------	------------	------------	--------------

令和4年度 目黒区美術館 事業計画

【自主事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	区補助金	
1	東京・区立美術館ネットワーク連携事業 東京の猫たち	4月23日(土) ～6月12日(日) (44日間)	目黒区美術館は、1987年に、都内7番目の区立の美術館として開館しました。2018年から、都内の区立美術館11館が集まり、「東京・区立美術館ネットワーク」として連携活動を続けています。これまで、各館の活動を紹介するチラシの作成や、討論イベント、情報交換などを行ってきました。この度、このネットワークに参加する10館の美術館のコレクションにより、「東京の猫たち」を開催します。猫は、画家にとっては繊細な毛を、彫刻家にとってはしなやかな身体のラインを表現できるモチーフであり、伝統的には「虎」の画題にも連なっています。また、多くの芸術家にとって猫は、社会にとらわれない自由な存在としての憧れや共感の対象でもあります。会期中は、各館の学芸員によるリレートークを実施し、教育普及活動でも連携を図ります。	8,760,000	3,760,000	5,000,000	0
2	目黒区美術館開館35周年記念展 美術館はおもちゃ箱・道具箱	7月9日(土)～ 8月28日(日) (44日間)	目黒区美術館では、美術作品以外に、美術をより深く理解したり体験したりするための周辺資料である教材を収集してきました。今回は、その中でも積木などの優れたデザインの玩具である「トイ」と、実際に画家が使用した絵具、パレット、筆、イーゼルなどの「絵画の道具」を取り上げます。「トイ」は、展示だけでなく、「トイコレクションボランティアチーム」により運営される教育普及プログラムの中でも活用されてきました。また当館では、これまでも展覧会や教育普及活動をととして、作品の成立する過程、素材及び技術と表現の関係を紹介してきましたが、「絵画の道具」は、画家たち遺した創造の軌跡を私たちに伝えてくれます。開館35周年を記念して、目黒区美術館のこれまでのユニークな活動を展示をととして紹介します。	8,335,000	1,535,000	0	△ 6,800,000
3	コレクション解体新書2 1970年代以降の作品を中心に	令和5年 2月18日(土) ～3月26日(日) (32日間)	目黒区美術館では、戦前の滞欧米期の画家の作品の他に、戦後に国際的に活躍した画家たちの作品も収集してきました。現代美術は、現代を生きる我々が抱える問題や価値観などを色濃く反映しながら、人類が歴史を重ねる限り、我々とともに歩み、展開していきます。現代の作家たちが表現した作品から、私たちが何かを感じたり、思いを巡らせることは、複雑で混迷を極める今日の社会を生きる私たちの生きる力になるかもしれません。当館が収蔵する現代美術コレクションより、1970年代以降の作品を中心に展覧会を構成します。	5,835,000	835,000	0	△ 5,000,000
4	次年度準備経費	—	主に次年度4月開催展覧会用準備経費(ポスター、チラシ、チケット制作や通信経費等)	1,400,000	0	0	△ 1,400,000
				24,330,000	6,130,000	5,000,000	△ 13,200,000

【指定管理事業・展覧会】

(単位:円)

NO	展覧会名	期間(予定)	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
					展示事業等	指定管理料	
1	コレクション解体新書1 フジタが目黒にやって来た	10月8日(土) ～11月20日(日) (38日間)	目黒区美術館では1987年の開館以来、近代以降の、海外で学んだり、国際的に活躍をした日本人画家を中心として、目黒にゆかりある作家・作品に焦点を当て、特色あるコレクションを形成してきました。開館以来の長い年月の間には、美術館の活動の展開とともに、作品の収集の傾向も少しずつ変化を見せました。普段知る機会の少ない、美術館の美術作品の収集に焦点をあて、目黒区美術館のコレクションの歴史をたどります。	3,604,000	1,134,000	2,470,000	0
2	めぐろの子どもたち展	令和5年 1月18日(水) ～2月2日(木) (14日間)	目黒区立の幼稚園、小学校、中学校で学ぶ子どもたちが、授業中に制作した図画工作・美術・書道などの作品を展示し、子どもたちの素直な目を通して発見された驚きや、美しいものになりたいという意欲など、心の動きが豊かに表現された力作を紹介します。併せて交流のある海外都市の子どもたちが描いた作品も展示します。	1,790,000	0	1,790,000	0
				5,394,000	1,134,000	4,260,000	0

※ 上記各展覧会の名称は変更になる可能性があります。

【自主事業・教育普及】

(単位:円)

NO	事業名	名称ほか	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)
								展示事業等	区補助金	
1	ワークショップ(1)夏		7月～9月	子ども～大人	4コース程度	「美術館はおもちゃ箱・道具箱」展に関連した内容を予定します。	430,000	30,000	400,000	0
2	ワークショップ(2)春		令和5年 2月～3月	子ども～大人	3コース程度	美術全般についての美術講座を予定し、美術の基本に関するテーマを設定します。	390,000	30,000	360,000	0
3	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		4月～5月	中学生～大人	4回	村野藤吾設計の目黒区総合庁舎の見どころを解説する人気の庁舎建築ツアー。国内各地の村野建築ツアーなど関係する美術館等相互の広報も引き続き予定していきます。	230,000	140,000	90,000	0
4	トイコレクション プログラム	アウトリーチ	5月、11月	乳幼児～大人	2回	トイコレクションボランティアチームが、児童館で展開するアウトリーチプログラム。テーマとストーリーをつくり、児童館に来る子どもたちと遊び美術館を紹介します。トイの日は、美術館で実施します。				
		トイの日	令和5年2月	乳幼児～大人	2日					
5	大人のための美術カフェ		該当する展覧会の会期中	高校生以上	複数回	平成26年度から始めた当館学芸員による、大人向けのゆるやかな美術談義。ラウンジ等で展覧会担当学芸員が担当した展覧会や美術に関するエピソードなど自由にテーマを設定してお話します。				
6	ギャラリーツアー		該当する展覧会の会期中	小中学校	複数回	区内、近隣小中学校の鑑賞教室を受け入れていきます。				
7	美術講座		夏以降	高校生以上	3回程度	美術に関する連続講座等を開催します。				

※ 事業費については、主に参加料収入を充てます。

※ 各展覧会においては、関連催事を予定していきます。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、中止や延期、オンライン等での実施も検討します。

【受託事業・展覧会、教育普及】

(単位:円)

NO	展覧会名・事業名	時期(予定)	募集対象	回数	内容	支出	収入		自主財源 (収入-支出)	
							展示事業等	区委託料		
1	めぐろオータムアート(目黒区文化・交流課と財団の共同企画)	秋頃	未定	未定	目黒界隈の建築を見るツアー「建築めぐり塾」、家族で美術と美術館に親んでいただくことのワークショップ。パーシモンホールとの共同企画で、音楽と美術に関する催事を行います。	184,000	12,000	172,000	0	
							184,000	12,000	172,000	0

《受託事業・目黒区文化祭》(区民ギャラリー)※日程については予定

(1) 華茶道展:4月

(2) 自主グループ展:4月

《後援事業》(区民ギャラリー)※日程については予定

(1) 目黒区書作家協会展 5月

(2) 目黒区美術家協会展 6月

(3) 目黒区美芸作家協会展 令和5年3月

《協力事業～主催;目黒区民作品展実行委員会》※日程については予定

(1) 区展(区民作品展) 9月14日(水)～9月25日(日)(11日間)